

日本学術会議化学委員会(第24期・第12回)+化学企画分科会(第7回)議事要旨

日時: 令和2年6月3日(水) 12:00-12:45

場所: ZOOM 会議室

出席者: 相田美砂子、阿尻雅文、岡本裕巳、加藤昌子、川合眞紀、君塚信夫、酒井 健、菅原洋子、
関根千津、茶谷直人、所 千晴、中村栄一、渡辺芳人

欠席者:、橋本和仁、高原淳

(敬称略)

議題および議事:

1. 分子研所長招聘会議

- ・プログラムの概要が説明され、進め方を確認した。
- ・博士問題は学術会議全体の問題だが、一部とは博士の意味合いが異なるので、全体で議論するのは難しい。科学系でも分野によっても異なるものの、三部でやった方がよいだろう。
- ・録音は周知して実施する。その他注意事項も併せて周知する。

3. 次期活動方針について

- ・博士問題をまとめる必要がある。提言か報告か、など。
- ・一般の AI に関する提言に「AI を機軸にした合成センター」構想が述べられている。来期はこれを大型機器の提案として取りまとめていく。
- ・物理化学・生物物理化学分科会では、地方にある大学の活性化に関して報告を出す予定だった。昨年12月26日の化学委員会合同分科会において実施したアンケートを踏まえてまとめる予定であったが、コロナの影響で、状況が変わったところもある。コロナ前の感覚で出すのはよろしくないの、ニューノーマルを含めたかたちで次期の早いうちにまとめたい。
- ・博士の提案は今回の1回では終わらない。次のアクションにつなぐ必要がある。小委員会をつくるなど。継続で議論したい。
- ・10月で委員のメンバーが新しくなる。12月の合同分科会は早めにセッティングをした方がよい。ウェブ会議になるか対面かは未定。
- ・化学委員会合同委員会は12/25に仮決め。webの場合はWebEXで実施予定。

4. その他

- ・総会是对面での開催はできないが、7/9にウェブ開催予定(総会で次期会員の承認が必要)。ウェブでも成立するよう、規定を改定中。

以上
関根 記